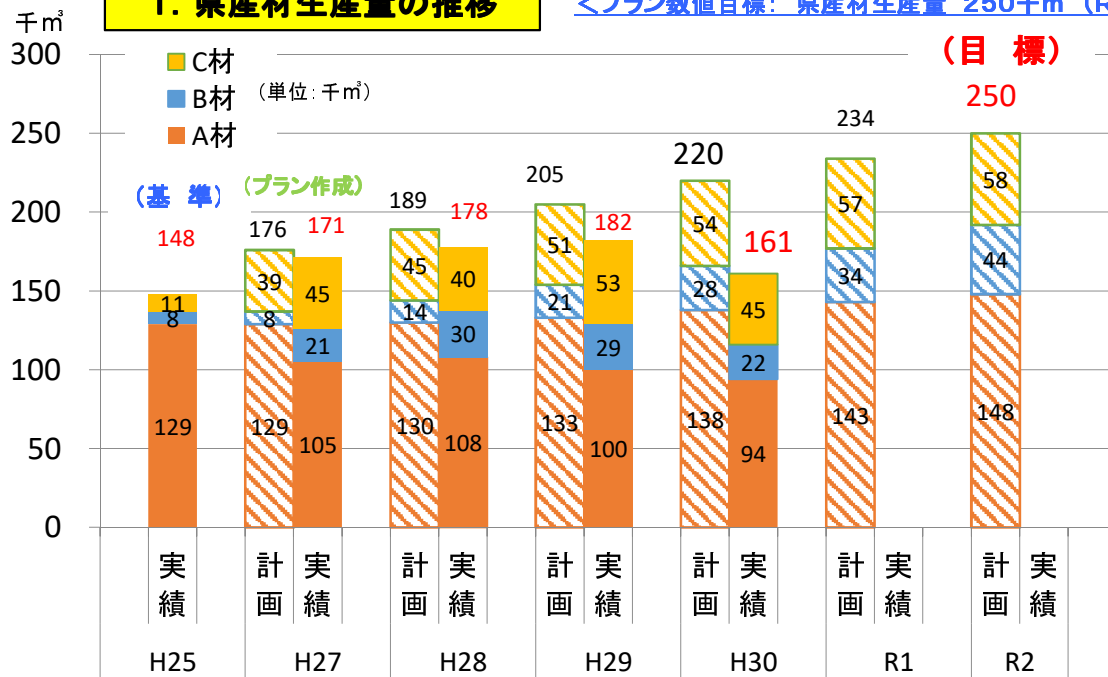


「奈良県林業・木材産業振興プラン」の進捗状況 (H30実績)

1. 県産材生産量の推移

＜プラン数値目標：県産材生産量 250千m³ (R2)＞

2. 結果と分析



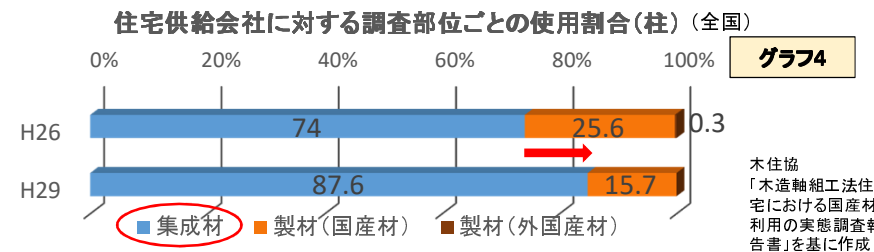
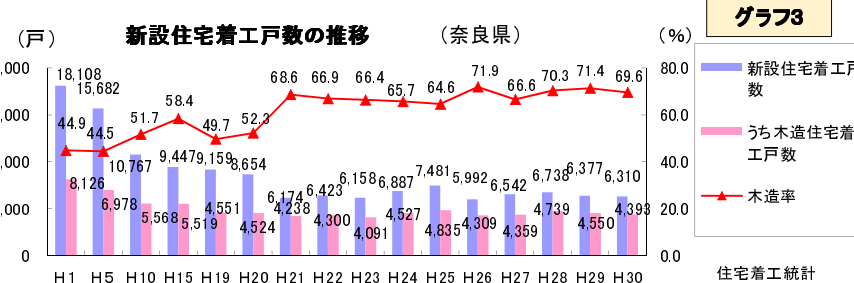
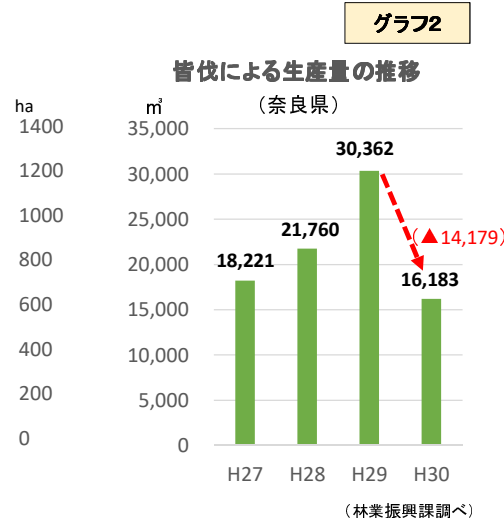
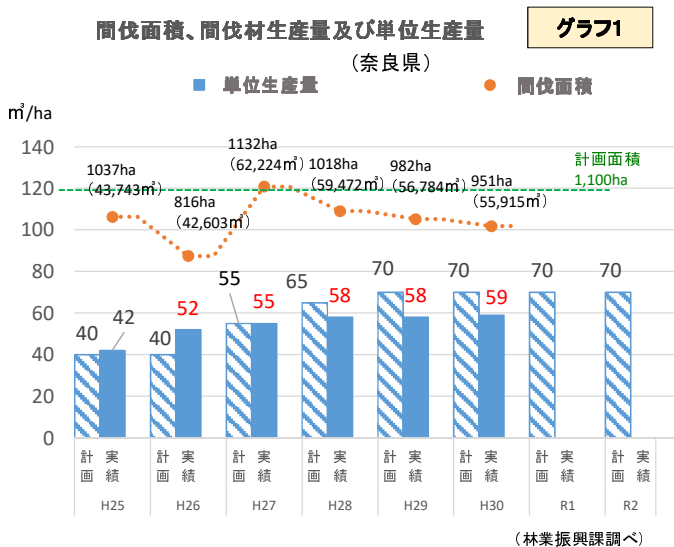
○ 川上における県産材生産状況

(結果) H27～29の県産材生産量は増加したが、H30は減少
 (分析) ・「ha当たりの生産量」(グラフ1)は、間伐材の搬出補助(H26～)や林業機械の導入(H25:32台→H30:57台)の成果で、従来未利用であった材が搬出され増加したが、H30で「間伐面積」(グラフ1)と「皆伐による生産量」(グラフ2)の減少により、県産材の生産量は減少
 ・特に、「皆伐による生産量」がH30で14,179m³減少。そのうち十津川村で6,436m³減少

○ 川中～川下における県産材利用状況

(結果) B材(合板、集成材用材)、C材(チップ用材)の利用量は増加したが、A材(建築用材)は減少
 (分析) ・木造住宅着工数(グラフ3)変わらない中、A材が減少しているのは、住宅向け柱が集成材へシフトしたことによる(グラフ4)
 ・B材は、集成材用ラミナ材の需要の増加による
 ・C材は、県内バイオマス発電所向けのチップ需要の増加による

＜参考＞



「奈良県林業・木材産業振興プラン」 行動目標の進捗状況

(1) 川上（山側）における取り組み

素材生産量の増加とA・B・C材全てを搬出する林業への転換

①人工林面積1ha当たりの 木材生産額の都道府県順位の上昇

策定時点 17位 (H24)
中間時点 28位 (H28、目標:13位)
現在 29位 (H30)
行動目標 19位 (R1)

②儲かる林業施策提案及び 第1種木材生産林からの素材生産量の拡大

策定時点 5,000m³ (H25)
中間時点 16,300m³ (H29、目標:18,000m³)
現在 16,600m³ (H30)
行動目標 21,000m³ (R2)

③間伐事業におけるB・C材の搬出量の拡大 (伐捨→搬出)

策定時点 40m³/ha (H25)
中間時点 58m³/ha (H29、目標:70m³/ha)
現在 59m³/ha (H30)
行動目標 70m³/ha (R2)

④素材生産効率の向上

策定時点 1.8m³/人・日 (H25)
中間時点 2.8m³/人・日 (H29、目標:3.0m³/人・日)
現在 3.0m³/人・日 (H30)
行動目標 4.0m³/人・日 (R2)

⑤新規就業者の雇用 (H27～ 累計)

策定時点 -
中間時点 86人増 (H29、目標:35人増)
現在 126人増 (R10)
行動目標 125人増 (R2)

(2) 川中（製材・加工・流通）における取り組み

A材・B材・C材毎の受け皿の確保と、
競争力のある製材・加工・流通体制の構築

①大規模製材工場と川上（山側）との 直接安定取引契約の締結

策定時点 -
中間時点 11,694m³ (H29、目標:10,000m³)
現在 12,761m³ (H30)
行動目標 22,000m³ (R2)

②集成材工場への県産材ラミナの供給量拡大

策定時点 -
中間時点 10,815m³ (H29、目標:12,000m³)
現在 13,490m³ (R1)
行動目標 20,000m³ (R2)

(3) 川下（マーケット）における取り組み

県産材製品の販路開拓及び多用途での利用拡大

①公共事業や公共建築物での県産材使用量 (製品ベース)の拡大

策定時点 5,000m³ (H25)
中間時点 5,234m³ (H29、目標:7,000m³)
現在 3,748m³ (R1)
行動目標 7,000m³ (R2)

②県産材自給率の向上

策定時点 55% (H25)
中間時点 59% (H29、目標:62%)
現在 58% (R1)
行動目標 62% (R2)